

# 平成30年度 第4回モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会 技術セミナー

次世代自動車支援センター埼玉では、県内の自動車産業に関わる企業の技術開発力強化を支援するため、「モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会」を設置しています。同研究会では、最新の技術動向や業界の技術ニーズなどの情報共有の場として技術セミナーを開催しています。

今回は、『最新のパワエレ技術』をテーマに2名の講師を迎え、「自動車電動化コンポーネント技術の要点と将来課題」及び「WBGパワー・デバイスを使用した短時間過負荷対応モジュール」について講演していただきます。

## 『最新のパワエレ技術』

### 講演1 「自動車電動化コンポーネント技術の要点と将来課題」

日立オートモティブシステムズ株式会社 技術開発本部 次世代モビリティ開発室  
パワートレイン技術開発部 主管技師 宮崎 英樹 氏

＜概要＞ 自動車電動化の開発現場は日・米・欧と展開して技術変貌を遂げた。今後は巨大な中国市場での普及が期待される。本講演は電動化コンポーネントであるモータ・インバータ・バッテリーと、関連する制御・充電器等の技術に関し要点を紹介し、将来のコンポーネントが目指すシステム指向・モジュール化に向けた課題を議論する。

＜プロフィール＞ 1983年、株式会社日立製作所 日立研究所に入社。インバータの回路・デバイスの技術を研究し、家電・産業・電力・自動車の分野でインバータ製品の開発に従事。2011年、日立オートモティブシステムズ株式会社に異動し、現在まで電動化の先行開発に従事。モータ・インバータ技術と共に、制御・ソフト、モデリング等の技術開発に携わる。

### 講演2 「WBGパワー・デバイスを使用した短時間過負荷対応モジュール」

サンケン電気株式会社 プロセス技術統括部 谷澤 秀和 氏

＜概要＞ インバータなどでは定格以上の電流を許容する短時間過負荷動作が規定されているものがある。我々はSiCの高温動作とモジュールの過渡熱抵抗に着目し、短時間過負荷に対応した小型なパワーモジュールを検討している。今回はそのモジュール技術や熱解析技術などを紹介する。

＜プロフィール＞ 2004年、サンケン電気株式会社に入社後、パワー半導体のパッケージ設計に従事。2012年よりNEDOプロジェクトに参加し、SiC高温実装技術の研究に従事。現在はSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)に参加。

日時 2019年2月6日(水)  
13:30~15:40

場所 新都心ビジネス交流プラザ 4階 会議室C  
埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2  
(JR埼京線 北与野駅前)

参加費 自動車産業部会会員：無料  
公社会員：1,000円  
上記以外(一般)：2,000円

問合せ (公財)埼玉県産業振興公社 次世代自動車支援センター埼玉 IoT・技術支援グループ  
〒338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2 TEL 048-621-7051 FAX 048-857-3921  
URL <http://www.saitama-j.or.jp/jidosha/>

申込先 ホームページからお申込みできます。<http://www.saitama-j.or.jp/jidosha/?p=9049/>  
(FAXの場合、裏面をご利用ください)



平成30年度 第4回モータ・パワエシ・水素エネルギー研究会

## 技術セミナー（2/6）参加申込書

企業名	所在地 〒	
TEL	FAX	
※下記の□に☑を付けてください。(分からない場合は「□不明」で結構です、こちらで確認いたします。)		
会員区分: □ 自動車産業部会会員(無料)、□ 公社会員(1,000円)、□ 非会員(2,000円)、□ 不明		
申込者1	所属	氏名: E-mail:
申込者2	所属	氏名: E-mail:
申込者3	所属	氏名: E-mail:
受講票等の発行は行いません。 当日は、本申込書またはお名刺をお持ちください。		